

コーチング実践学学位プログラム（博士前期課程） 履修モデル								
養成する人材像	コーチング領域に関する幅広い学識に基づいた研究能力と高度で専門的なコーチング実践力によってスポーツ現場での指導を行える能力とともに、高いコミュニケーション力と交渉力をもち現場の課題解決能力を兼ね備えたコーチやコーチデベロッパーを養成する。							
教育研究の特徴	<p>近年、アスリートが主体となり、ハイパフォーマンスの獲得とともに、スポーツ活動を通じた包括的な人間的成長を可能にするアスリートセンタードコーチングの重要性が指摘されています。このような社会的背景の中、さらに専門的かつ高度な知識と実践力を兼ね備えたコーチングができる人材が求められています。</p> <p>コーチング実践学学位プログラムでは、体育スポーツ科学の専門的な知識と科学的根拠に基づいた指導力を併せ持つコーチデベロッパーの育成や、アスリートの競技レベルに応じた的確なコーチングが可能な高度職業人としてのプロフェッショナルコーチを育成するためのカリキュラムを準備しています。中でも、コーチング実践学学位プログラムのカリキュラムの特徴として、実践的なコーチングの基礎を学ぶコーチング学演習とコーチング現場を想定したプラクティカムが挙げられます。</p> <p>以下にチームスポーツにおけるトップチームのコーチ目指す(実際にコーチをしている場合も含む)院生の履修モデルを示します。</p> <p>1年次前学期にはチームスポーツを中心としたスポーツにおける戦術の立て方を学ぶとともに、スポーツ現場で想定される様々な危機管理について理解を深めます。</p> <p>1年次後学期にはチームスポーツにおけるコーチングとそれぞれの競技におけるパフォーマンスの分析法について学びます。さらに、実践課題学期小論文について指導を受けます。</p> <p>また、2年間を通じたコーチング学演習とプラクティカムによって高度なコーチングの実践力を身に付けるとともに、2年次前学期には外国人選手などと意思疎通を図るためのコミュニケーション方法を学びます。</p> <p>このような履修モデルにおいてコーチング実践学の専門的知識と高度な指導力を身に付けるとともに、定められた実践課題学期小論文を提出することによって修士(コーチング実践学)の取得を目指します。</p>							
修了後の進路	後期課程への進学/スポーツコーチ/コーチデベロッパー/アナリスト/スポーツ競技団体職員/スポーツ関連機関職員/スポーツ関係企業人/青年海外協力隊職員/中学校・高等学校教諭(保健体育)など							
科目区分	1年次				2年次			
	前学期		後学期		前学期		後学期	
大学院共通科目(必修)	身体総合学術論	2						
研究群共通科目(必修)	研究報告演習Ⅰ	2			研究報告演習Ⅱ	2		
基礎科目(選択)	コーチング学原論	2	コーチング学特論Ⅱ(ハイパフォーマンススポーツ)	2				
	コーチング学特論Ⅰ(基礎)	2	コーチング学特論演習Ⅱ	2				
	コーチング学特論演習Ⅰ	2						
	コーチング実践学研究法	2						
他学位プログラム・コース科目								
専門科目(選択)	プラクティカム(コーチング)Ⅰ	1	スポーツ危機管理	2	コーチ育成論	2	プラクティカム(コーチング)Ⅳ	1
			個人型スポーツコーチング論	2	プラクティカム(コーチング)Ⅲ	1		
			対人型スポーツコーチング論	2				
			チーム型スポーツコーチング論	2				
			プラクティカム(コーチング)Ⅱ	1				
研究指導科目(必修)	コーチング実践学研究Ⅰ	1	コーチング実践学研究Ⅱ	1	コーチング実践学研究Ⅲ	2	コーチング実践学研究Ⅳ	2
履修方法	<p>次の履修方法により、30単位以上を修得すること。</p> <p>(1)大学院共通科目:2単位</p> <p>(2)共通科目:4単位</p> <p>(3)基礎科目:コーチング実践学学位プログラムの科目を12単位 ※「コーチング学原論」、「コーチング学特論Ⅰ(基礎)」、「コーチング学特論演習Ⅰ」、「コーチング学特論演習Ⅱ」、「コーチング実践学研究法」は必修</p> <p>※各学位プログラムが履修を認める科目は、単位数に含めることができる</p> <p>(4)専門科目:コーチング実践学学位プログラムの科目を6単位 ※「プラクティカム(コーチング)Ⅰ～Ⅳ」は必修</p> <p>(5)研究指導科目:コーチング実践学研究Ⅰ～Ⅳの6単位 ※研究指導教員が担当する科目を選択する。</p>							
修了要件	2年以上在学し、学位プログラムが定める修了に必要な授業科目を30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文に代わる実践の場における課題についての研究成果の審査及び最終試験に合格することとする。							
その他の学修・研究	実践課題学期小論文(論文に代わる研究成果)			中間発表会 実践課題学期小論文(論文に代わる研究成果)		実践課題学期小論文(論文に代わる研究成果) 実践課題学期小論文の審査 最終試験 最終発表会		